

⑤ “ボランティア情報の発信”を行います。

「センターってどこにあるのかな」
「どんなボランティア活動があるのかな」
「どこにボランティア情報があるのかな」

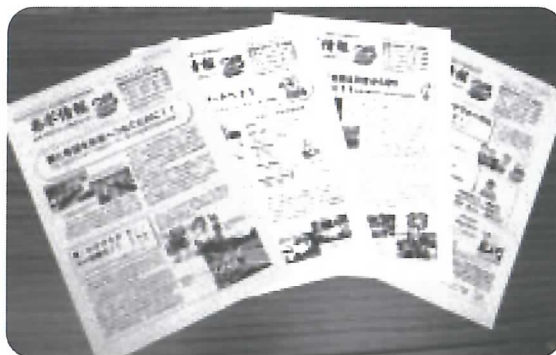


5-1 「あボ情報」と「ホームページ」による情報発信を行います。

センター情報紙「あボ情報」と「ホームページ」を活用し、活動現場の取材から得た情報や、活動者のボランティアに対する思いなど、登録ボランティアの活動等に光をあて、ボランティアの魅力を伝えます。また、ボランティアを「したい」「してほしい」の情報や「助成金」「保険」「センター事業の案内」など役に立つ“情報発信”を行います。

たとえば…

- ・センター情報紙「あボ情報」の全戸配布や地域回覧の実施。
- ・センター情報紙「あボ情報」の配布箇所の細分化、エリアの拡大。
- ・センター情報紙「あボ情報」の発行回数の増加。
- ・ホームページによる情報発信。
- ・掲載内容の検討。



※センター情報紙「あボ情報」

5-2 あらゆる広報媒体、社会資源を活用した情報発信を行います。

市・社協・各事業所の広報誌、FMいかる、あやべ市民新聞、テレビなど様々な社会資源や広報媒体を活用し、広く市民へボランティア情報を伝えます。また、継続して情報を発信することにより、ボランティアを「身近」に感じることや、活動に対する「理解者」や「協力者」を増やし、ボランティア活動の広がりにつなげます。

たとえば…

- ・市、社協広報誌等による情報発信。
- ・事業所との連携による情報発信。
- ・FMいかるの番組出演等による情報発信。
- ・あやべ市民新聞等の紙面による情報発信。
- ・オフトーク通信による情報発信。
- ・テレビ放送による情報発信。



※FMいかる「ボランティアの窓」の番組出演

5-3 地域に出向いた情報発信を行います。

地域の住民に対し、出前型の講座等を行い、センターの「役割」やボランティア活動の基本的な「知識」、ボランティアの「魅力」や「価値」をわかりやすく伝えます。

たとえば…

- ・ボランティア出前講座の実施。
- ・プレゼンテーションマニュアルの作成。
- ・広報車による広報活動。
- ・各種事業所へのセンター情報の掲示。